世界自閉症啓発デー関連事業

～２０２４自閉症啓発デーに関わる取り組み～

滋賀県での自閉症啓発デーの取り組みは今年で１０回目となり例年通り４月２日から国宝彦根城を３日間ブルーライトアップしました。

今年も滋賀県や彦根市行政をはじめ、県内のたくさんの企業様にお力添えをいただくことでポスターやチラシを制作し、自閉症啓発を行うことが出来ました。ブルーライトアップを紹介するポスターについては、県内のＪＲと近江鉄道の全駅をはじめ、金融機関や自治体各所、またたくさんの企業様にも掲示の協力をいただきました。

今年は桜の開花が遅く、桜満開のコラボレーションとはなりませんでしたが、

趣のある国宝彦根城が「バリアフリーな社会の実現」を啓発している様子は、同じ青色でも澄んだ美しさが感じられ感無量でした。

「ひこね市文化プラザ」では滋賀県発達障害者支援センターが主催の「発達障害啓発県民講座」が行われ、その案内チラシには世界自閉症啓発デーのロゴが活用されており、講座修了後は滋賀県発達障害者支援センター関係者もブルーライトアップの様子を見るため国宝彦根城まで来てくださいました。

また、滋賀県庁においては「クワイエットアクション」が実施されました。

耳の不自由な方には情報が届きにくいことが起きてしまったようですが、様々な課題を抱えた方々への配慮を検討し実施くださることが何より有り難く感じました。

これらの取り組みが広く社会に届くためにメディア等を通じて多くの方々に伝わるようになれば、さらに啓発の輪が広がることになるのではと感じました。

今後においても皆さまのご支援をいただき発展的に啓発事業が進むことを願っています。

　　　

